

ウイルスを媒介する虫に注意



タバココナジラミ



ミナミキイロアザミウマ

トマト黄化葉巻病やトマト黄化病、キュウリ黄化えそ病などの病気は、コナジラミやアザミウマなどの害虫がウイルスを運んできます。

防除対策の基本は、ウイルス媒介虫を「施設内に入れない」、「施設内で増やさない」、「施設外に出さない」の3つです。

収穫期間中はウイルス媒介虫であるタバココナジラミ（トマト黄化葉巻病、トマト黄化病）やオンシツコナジラミ（トマト黄化病）、ミナミキイロアザミウマ（キュウリ黄化えそ病）の防除を徹底しましょう。

なお、次作の感染源を減らすため、収穫終了後は残さを持ち出す前に施設を密閉して、ウイルス媒介虫を死滅させましょう。

防除剤は、スタークル、ベストガードをおすすめします。

スタークルは、野菜のコナジラミ類、果樹のカイガラムシ、カメムシ類に効果を示します。

ベストガードは、トマト・なす・きゅうりなどの野菜や、草花など幅広い植物に使用できます。効果が持続しますので、発生期間の長いアブラムシ・コナジラミなどの防除に適しています。